

銘柄分析レポート：いちばん儲かる分野

1 はじめに

銘柄選択におけるヒントとして、大いに参考になっている文言があります。英国人のピーター・タスカ氏が1994年に出版した書籍『日本は甦るか』に書かれているものです。

ハイテクかローテクかを問わず、いちばん儲かる分野は、生産性の高い競争相手があまりいないところだ。

この文言がズバリ当てはまった例として、MonotaRO（3064）があげられます。

同社は、訪問工具商の介在する非効率な商取引が行われていた中小製造業向け工場用間接資材の市場にネット通販という形で参入し、大成功を収めました。

株価も2008年の安値から一時は400倍以上の上昇となり、今でも優に100倍を超えています。

今月号の銘柄分析レポートでは、二匹目のドジョウを狙って「生産性の高い競争相手があまりいないところ」でビジネスを行っている企業の分析を試みました。

★MonotaRO 株価チャート（月足）

